



ラウダート・シ実行計画

Laudato Si' Action Plan

聖ヨセフの姉妹達は、スピリチュアリティ（霊性）を深め、社会的改革を唱道し、環境維持に対する意識を高める社会的活動に取り組むことにより、環境的回心を追求しています。

私たちは、私たちと同じ情熱、カリスマ、そして使命を持つ人々と一致団結して取り組んでいく決意です。この緊急なニーズは私たちがアソシエーツ、コンソーシエーツ、オハナ、ファミリア・デ・サンホセ、アミガス・デ・サンホセ、Agrégéeのコンパニオン、聖ヨセフのワーカー達、そしてその他私たちのカリスマに勇気づけられているミッション・ミニストリー・友人達と力を合わせ、ラウダート・シを導入することを求られています。私たちの修道会だけでは限界があります。なので多私たちの作成した資料や計画をくの皆様と分かち合い、可能な限り皆様にも環境維持のための個人的な決意をしていただきたいと思います。

持続性

私たちは日常的な生活習慣を変え、ライフスタイルをシンプル化し、カーボンニュートラルな方法を取り入れることにより地球の環境的維持に貢献します。

生活習慣を変える


自然保護プランの実践のための教育

当修道会は毎年、下記のエリアに取り組むために、環境に焦点を置いた教育プログラムやキャンペーン実施しています：

- リサイクル
- 使い捨てプラスチック使用の削減
- 化石燃料の使用の減少、特に電力の消費と交通のエリアにおいて
- 可能な限り会議のための出張等を減らし、代わりにオンライン会議やハイブリッドのオンラインと直接集まるというミックスの会議を行う。
- 堆肥を作る

毎年、違うエリアを設定してそれに取り組みます。一年目は、商品の宣伝や広告においてのグ


リーンウォッシュ（グリーンに対する誇大や詐欺広告等）をどのように見分けるかということに焦点を置きます。毎月、修道会の取り組みを補助・強化するために、修道会全体に向けてのエコ・チャレンジを発動し、皆様にわかりやすいメッセージを送ります。

 **SMART¹ターゲット**：年間のプログラムを行い、毎月のエコ・チャレンジを発動し、シスター達の年間のアンケート調査では、日々の生活習慣が変わり、ライフスタイルがシンプル化していることを確認します（下記の「シンプル化したライフスタイル」をご参照ください）。

メジャーな建物

リサイクル（再生利用）と処分

私たちは地元の政府や地域コミュニティが提供するリサイクルのプログラムに参加します。場合によっては、特に電気製品等の処分をする際にはリサイクルできるための必要な費用を払います。メジャーな建物では、簡単にリサイクルできないプラスチックのパッケージやペン等はTerracycle Boxなどのオプションを活用します。ペンキ、エアコン、車のバッテリー、リチャージできない電池、電化製品等を正規な方法で処分したりリサイクルしたりする努力をいたします。

 **SMARTターゲット**：毎年6月に提出される年間レポートでは、このセクションでの決意事項は全て達成できていること。

食品廃材（生ごみ）の削減

食品廃材を減らし、堆肥を作り、食糧不足の人たちのために食糧を回収し配布できるよう一層取り組んでいきます。

 **SMARTターゲット**：年間レポートによると、現在行っている食品廃材、堆肥作り、食糧の回収・配布の取り組みは引き続き行われていることがわかる。


購入

リサイクルされた紙でできた持続可能な紙製品の購入

- （2022年では）：
 - 紙製品がいかんして環境に影響を及ぼすのということに関する教育的資料、リソースを提供します。
 - この教育プログラムに従い、事務所での紙の使用をモニターし、紙の使用量を減らしたり、費用効果のあるリサイクルされた紙の使用、特に100%リサイクルされた紙で20%再利用された資源、或いは持続可能な山林管理から入手した資源からなるものを購入します。更に学んだことを修道会のあらゆるメディアを活用してシェアすることを促します。


¹SMART（S: specific具体的、M: measurable測定可能、A: achievable達成可能、R: realistic現実的、T: time-bound期限を決めた）

- 2022年の中ごろまでには、どれだけ計画通りにリサイクルされた紙を使用しているか、各事務所を調査します。
- これら紙製品の受け入れに対する取り組みをモニターします。
- 2023年以降は、モニターされた教育に対するレスポンスやその時提供されている商品に基づいて紙製品の購入のプランを調節します。

 **SMARTターゲット**：2022年には、教育プログラムが実施され、各事務所は紙の使用量をモニターし、100%リサイクルされ、20%再利用された資源、或いは持続可能な山林管理から来た資源から作られた紙製品を購入する方法を調査し、これらの変化を取り入れた事務所の成果を調査します。


公正取引やローカル（地元）の製品の購入

公正取引の商品の購入、そしてカーボン・フットプリントを減らす方法を見いだす努力を続ける一環として極力地元で作られたものを購入するなどの取り組みを続け、或いは広げます。管区間で公正取引の商品について情報を共有します。

 **SMARTターゲット**：年間レポートで購入方法は公正取引された商品の購入が増えていることを確認し、更に地元で作られた製品を購入することによりカーボン・フットプリントを減らす方法を追求します。

使い捨てプラスチックの使用量を減らし、発泡スチロールを排除する

メジャーな建物での使い捨てプラスチックの使用量を5年間毎年20%ずつ減らし、5年後には完全に排除します。発泡スチロールの使用は2022年までに完全に排除します。

 **SMARTターゲット**：メジャーなビルディングで使用されている使い捨てプラスチックと発泡スチロールの使用量を2021年10月1日までに査定します。2022年1月までに使用量を20%減らす計画を立てます。2022年1月までに、発泡スチロールは完全に排除します。毎年6月に、使用量の削減が計画通りに行われているか評価します。

建物の改築や改善をする際は環境維持を考慮に入れた方法を選ぶ

これから6年先に渡り、主な建物・施設の改善・改築が行われるかもしれません。改善されることとなった場合は、極めて費用効率が悪い場合、或いは建物が古すぎるために実行不可能な場合を除いて、極力環境維持ができる方法を優先して検討します。


改築・改善を考慮する際に下記の要素を検討します：

- 修道会にとって建物があと何年間役に立つのか
- 環境維持の利点や理由について検討すべきか否か
- これらの改善・改築がどれだけ短期的、或いは長期的な支出をすることによって労力の節約とコストの削減になるのか

原則として、3年から5年間の間に節約することによって建物の改善投資のコストが取り戻すことができ、建物の耐久年数が修道会にとって10年以上持つという場合は、投資をする価値があると判断する。メジャーなプロジェクトにおいては、10年計画で投資額を取り戻すことができるのであれば価値があると見なします。場合によっては、この投資基準に準じなくとも、建物の改善・改築が環境維持の基本方針に基づいた方法を選択することもあります。

メジャーな施設・建物の現況と将来的な計画


- アルバニーのプロビンス・ハウス：現在アルバニー管区は施設の建物と土地の大掛かりな調査を行っています。近い将来、土地と建物をどうするかについての決断が下される予定です。
- ロサンゼルスのカロンデレット・センター：現時点ではカロンデレット・センターはまだ住宅、管区総合事務所、そして管区の集会場として機能しています。管区は、今後10年先のカロンデレット・センターの利用法を調査・検討するために Future Planning Committee（将来計画コミッティー）を結成し、このコミッティーが先々の移動等の可能性についてのレコメンデーションを準備します。
- セントルイス管区のプロビシヤル・ハウス、修道会本部：この由緒ある建物は1800年代に建てられたものです。2016年よりエネルギーを効率よくするために大掛かりな改善工事を行い、450枚もの窓を取り換え、建物のレンガの3分の2をタックポイント（襷目地拵）し、建物の25%に断熱材を取り付け、ドアの下の隙間テープを張り替え、建物の3分の2に在室センサーを取り付け、電球の95%をLEDに取り換え、Energy Star Portfolio Manager のシステムを導入して建物のエネルギー消費量をモニターしています。今後とも建物の断熱能力やエネルギー効率の改善等の取り組みを続けていきます。
- セントポール・アドミニストレーション（管理）センター、カロンデレット・センター、プロビシヤル・ハウス：セントポールの敷地には、アドミニストレーション・センター、カロンデレット・センター、プロビシヤル・ハウスと、3軒のメジャーな建物が建っています。2016年から、建物すべての電力は再生されたエネルギーを地元の電力会社から供給されています。今後3年間に渡り、電球は可能な限り全てLEDに取り換え、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機はすべて Energy Star プログラムのものに取り換え、二つの蒸気ボイラーを高効率のボイラーに取り換え、エネルギー消費量をモニターするために各建物に可能な限りサブメーター（子メーター）を取り付け、ソーラーパネルやエネルギー貯蔵システムを導入し、天然ガスのオプションを検討する予定です。

 **SMARTターゲット**：メジャーな敷地・建物の改築・改善の計画を進める中、このセクションに述べられた要素や原則に従い、環境維持を重点に検討を進めます。ただし、CD#R5（修道会指令#R5）にあるように環境維持のオプションがメジャーな改築・改善において費用的に、状況的に（例えば歴史的な場所・建物として指定された場合、ゾーニングの指定のある場合等）、建物の古さなどの事情で「運営管理上、格外」と判断された場合、管区は修道会リーダーシップチームに「環境維持を第一プライオリティー

にはできない」という理由を述べ、リクエストを提出します。

水路、土地、空気


環境に優しい肥料を使い、水の無駄にならない灌水方法を取り入れ、建物の周りには不透水性の材料を使用せず、定期的に敷地内のごみを除去するシステムやキャンペーンを取り入れることにより、敷地内の水、土として空気を守る取り組みを行います。ミネソタ、ニューヨーク、ミズーリ各地での環境保護のプランに取り組み、特に受粉媒介者の保護に力を入れ、実行可能な場合は都市型持続可能な食料生産システムを取り入れます。

 **SMARTターゲット**：メジャーな敷地・建物では現在の取り組みを続けます。現在取り組んでいるプロジェクトの改善や拡大、そしてオオカバマダラ、蜂などの受粉媒介者の保護、都市型持続可能な食料生産システムに関する新しいコラボレーションに関しては年間報告を提示いたします。


交通手段

車を割り当てられているが、あまり使われていない場合は、車を手放して他の交通手段を利用することをシスター達に教示してあげる必要があることに気が付きました。このことを通してシスター達が地球の環境問題をよりスピリチュアルにコネクトできればと思っています。カーボン・フットプリントを減らすことは現在全キリスト教徒に求められている大切なことです。

車を取り換える際、75歳以下のシスター達は電気自動車、或いは差し込み可能なハイブリッド車に切り替えるよう強く勧める計画です。チャージング・ステーションがない場合、あるいは電力が石炭による火力発電所からきている場合は、ハイブリッド車を選んでもらうよう勧めます。環境に優しい車を購入するに当たり「修道会フリート・レート」かつ各施設へのデリバリーを含めたレートを依頼します。車を取り換える際に上記のオプションが可能でない場合は、排ガスレートが1-10のスケールで6以上のガソリン車を購入するようにします。

 **SMARTターゲット**：古いモデルが新しく、よりエネルギー効率の良い車と取り換えられるにつれ修道会の車両フリートは変わっていきます。一年目はこの変化やシスター達の反応をモニターします。それによって2年目-6年目にかけての目標を立てることができます。

完全に出張での会議を無くすことはしませんが、極力出張は減らし、可能な限りオンライン会議やハイブリッド（オンライン+直接）の会議を行うことに取り組みます。

 **SMARTターゲット**：一年目に修道会から基本データを集め、それを基準に2年目-6年目においての出張数を減らす目標を建てます。

土地の利用法

セントポールのコミュニティー・ガーデンを通して生物多様性を守り、セントルイス、アルバニーとセントポールではそれぞれの土地固有の植物や受粉媒介者の保護の活動を続け、或いは拡大し、アルバニーの敷地での土地はまだしばらく休耕地のままにしておきます。

- 🎯 **SMARTターゲット**：一年目の間にエーカーごとでのガーデンや受粉媒介者の生息地についての基本データを集め、その維持或いは拡大の目標を立て、維持可能な食糧生産と受粉媒介者の生息地の開発をしている地域のパートナーシップの基準を設定し、それを拡大するための目標を立てる。

シンプル化した生活様式（ライフスタイル）

毎年「創造の季節」の期間中にアンケートが送られ、5月か6月にフォローアップのアンケートが送られ、全員にこのアンケート調査に参加してくれるよう依頼しています。毎年5つのトピックに焦点を当て、各シスター達にそれぞれのトピックにおいて10-15通りの行動上の変化のオプションを提案します。2021年-2022年度のトピックは、食べ物、紙製品、洗濯洗剤類、そして家庭用品においての環境維持、そして使い捨てプラスチックの使用を減らすことについての取り組みです。

- 🎯 **SMARTターゲット**：アンケート調査に答えてくれたシスターの人数に基づいた回答率と、あるパーセンテージのシスター達が実際に行動上変化を達成できた場合は、そのトピックのアイテムはリタイアされます。例えば、回答率が30%で、そのうち70%の回答者が7か月間において行動上一つのアイテムを生活上で変化することを達成できた場合、そのアイテムはアンケートから外されます。どれだけ成功率があれば、各分野の全てのアイテムをリタイアし、新たな分野に取り掛かることができるかということについては、初回アンケート調査の結果が記録された後に判断いたします。

カーボン・ニュートラルへの取り組み


現在、二つの管区は社会的責任のある異宗教間法人グループ、**Seventh Generation Interfaith Coalition for Responsible Investment** と **Investor Advocates for Social Justice and the Interfaith Center on Corporate Responsibility** に所属しています。この二つのグループは環境維持や環境への投資等に関する調査を行い、各企業が社会的責任のある行動を取るよう圧力をかけています。このグループの調査結果に基づき、化石燃料に関連した投資ポートフォリオについて調査・検討するために2021年-2022年度にかけて修道会リーダーシップグループは修道会のコミッティーを結成します。更にこのコミッティーは全ての投資において環境維持への考慮がなされているか確認し、共通の社会的責任投資ができるよう審査するプロセスを開発し取り入れることを検討します。更に、各管区は投資家に、化石燃料への投資問題、クリーンテクノロジーへの投資、そして環境維持を考慮に入れた投票、委任投票に対する指導・ガイダンスを行うプランを作成する予定です。

- 🎯 **SMART ターゲット**：化石燃料に関する投資ポートフォリオを調査・検討するコミッティーを結成します。2022年までに、このコミッティーは全投資が環境維持の取り組みに添ったものか、共通した社会的責任投資を審査する必要性について検討します。2

022年の終わりまでに、各管区は化石燃料をサポートする投資、クリーンテクノロジーへの投資、そして環境維持を考慮に入れた投票、委任投票に対し指導・ガイダンスを行うプランを作成します。2023年からは、各管区はそれぞれが立てたプランと共に作成した指導・ガイダンスに対するレスポンスを分かち合います。

1973年からペルーで活動をしている聖ヨセフの姉妹達はペルーのTacna市にあるFe y Alegria Schoolと協力し、学校の周りや、低所得地域であるAsentimiento Humano周辺に木の種を蒔いたり、木の苗を植えたりして砂漠化を削減を図る試験的なプログラムを導入する計画を立てています。生徒たちは種を蒔いたりワランゴの木や、その他数種類の砂漠でも根を張り生息できる木を植えながら農業のスキルを学び、身に着けることができます。この試験的プロジェクトはペルーのIca市で行われた砂漠化削減プロジェクトの成功例を再現できることを期待しています。2024年に植樹を開始します。生徒たちは5年間かけて毎年100本の木を植えて育てるのが目標です。この試験的プロジェクトにかかる費用はカロンデレットの聖ヨセフの姉妹の修道会事務所が集めた年間寄付金で支援します。


修道会の事務所のスタッフが必要に応じた飛行機による出張や、その他の「炭素費用」がかかってしまう行いを認識した上で、この寄付金は気候変動によって影響を受けたペルーのこの地域の環境維持と炭素放出量の削減に役立っています。

 **SMARTターゲット**：資金・寄付金は2021-2023の間に確保します。2024年から植樹が始まり5年間に渡り毎年100本の木を植え・育てる計画です。

スピリチュアリティ（霊性）について


私たちは神の被造物に対する宗教的ビジョンを取り戻し、それをより多くの人々と分かち合うことにも取り組んでいます。毎年3か月間に渡るプロジェクトを企画し（創造の季節、地球の月、プラスチック・フリーの7月）、環境的回心、生活習慣の改善、生活様式のシンプル化、カーボン・ニュートラルの実現化を奨励しています。

私たちが関わっている、或いは創立した大学、総合大学やハイスクールとのパートナーシップを深め、この3か月の期間中、これらプログラムが実践できるように企画、実践、参加等のアシストをいたします。


 **SMARTターゲット**：この3か月間のプログラムを毎年行います。これらのイベントへの参加人数の増加がパートナーシップの強化に反映します。このプログラムのリーチを徐々に増やしていけるよう2-6年先の目標を設定します。

私たちは2019年の修道会総会で、「日々目撃する今日の現実を受け止めながら、私たちの立てた誓願を明瞭に表現しつつ確実に生きていく」ことを決意しました。更に「これらの決意事項を実践するに当たり、私たちはラウダート・シを導入する」ことも表明しました。気候変

動は私たちが今直面している最も緊迫している緊急課題の一つです。私達が立てた誓願の中にラウダート・シを取り入れる緊急性を認識できるようなプロセスに取り組んでいきます。

 **SMARTターゲット**：修道会のシスター達の40%は自分達が立てた誓願を、ラウダート・シに呼びかけられている環境的回心とコネクトするためのプレゼンテーションやディスカッションに参加すること。この参加しているシスター達にアンケートに答えてもらい75%がこれらのプレゼンテーションやディスカッションが自分達の生活を影響していると答えてもらうことが目標です。

ペルーのシスターたちは、彼女たちが教えている学校で、教育者、生徒、生徒家族に向けての「共通の家を大切に作る」カリキュラムを取り入れるよう依頼しました。

 **SMARTターゲット**：このカリキュラムは2024までに完成し、2024の学年度から導入します。

唱道・提唱


私たちは地元、州、全国レベルにおいての政治家に対し、そして国際レベルでは国連にて **Congregation of the Sisters of St Joseph Non-Governmental Organization**（聖ヨセフの姉妹の修道会の非政府組織）を通して、環境維持の大切さを唱道しています。

国際レベルでは、私たちが活動している国々（日本、ペルー、アメリカ）で、地球の嘆きや貧しい人々の嘆きなど、人権に関するコミットメントを果たせるよう **Universal Periodic Reviews (UPR)**に参加することを検討しています。コミッティーを結成し、これまでのUPRのレコメンデーションとそれに対する私たちが活動している各国のレスポンスを調査します。調査の結果提示すべきデータがある場合は、そのレポートを作成し、或いはレポートを準備している他の団体と共同で次のUPRにレポートを提出することなどを検討しています。

アメリカでの国内レベルでは、気候変動、人種差別などに関する問題の内、4つの問題を毎年取り上げ、政治的な唱道活動を行い、各問題において約300人の人が参加してくれることを期待しています。

管区の **justice, peace, and integrity of creation**（被造物のための公正、平和、保護）（JPIC）のオフィスが各地域や地元の問題等における唱道に取り組みのリード取っています。

気候変動、人種差別と移住者の問題については、修道会レベルで日本や米国の政府関係者宛てにレターや請願書を提出しています。

 **SMART ターゲット**：実践レポートが年に二回集められ、そのレポートでどれだけ私達たちが首尾一貫した唱道活動を行っているかがわかります。

大切な問題を唱道したい人達を援助するために「**Developing Diverse Voices**（多様性のある声を育てる）」というカリキュラムを開発しています。2021年－2022年の間、異文化間の適用性のテストを行います。コミュニケーション・プランを活用し、このカリキュラムを広範囲に広げることを計画しています。

 **SMART ターゲット**：このプログラムはスケジュール通りに開始し、期待通りの成果を上げている。

社会的活動

地球の嘆きと貧しい人々の嘆きを繋げる連動システムを認識しています。ついては、政策決定者を影響する行動をとったり、人々に私たちのラウダート・シの取り組みに参画することを促し世論に影響を与える活動を行っています。更に一般の人々に教育講習を提供したり、環境維持に役立つ行動の模範となったり、環境的パートナーシップにジョインしたり招いたりすることを通して活動を行っています。

一般の人々への教育は直接、そしてオンラインで行います。修道会ネットワークを使って**the Laudato Si' Movement and Catholic Climate Covenant**（ラウダート・シのムーブメントとカトリック気候誓約）についてこれらの教育講習を公表します。

私たちは二つの**WASH**（**Water**（水）、**Sanitation**（衛生施設）、**and Hygiene**（衛生状態））プロジェクトを支援します。セントルイス管区は「**Water for Blessing**」をサポートし、セントポールの「**Growing Community Roots**」はケニアの水のプロジェクトに取り組んでいます。


セントポールでは、「**Celeste's Dream Community Garden**」と提携し、栄養食品を通して復元力とコミュニティーの絆を築き上げるよう取り組んでいます。2020年には500ポンド近くの農産物が収穫され、その50%は**St. Catherine University**と**St. Mary's Health Clinic**のコミュニティー内での食糧不足を援助している**St. Kate's/CSJ Food Shelf**に寄付されました。

ペルーのシスター達は、**Conference of Religious of Peru (CONFER)**がスポンサーしているジャングルを巡回している修道会間コミュニティーのシスター達を支援するために毎年\$3,000の寄付をしています。それぞれ異なる修道会に所属する5名のシスター達（先生が3名、

看護師が2名)がPuerto Maldonadoにある三つのアマゾン地帯のコミュニティーの生活と文化の保全を守ろうと尽力しています。

更にペルーのシスター達はIntegral Ecological Commission of the Justice, Peace and Integrity of Creation Committee (JPIC), CONFER Peruに毎年\$ 1, 000の寄付をしています。この団体は私たちの共通の家を大切に作る取り組みに当たり、教会グループ向けだけでなく、一般市民に向けた活動も行っています。

修道会はペルーのTacna市に住む女性たちが、トラック・ガーデンを開いたりや小さな動物の飼育などをして事業家になれるように、立ち上げ資金とトレーニングを提供します。カロンデレットの聖ヨセフの姉妹達と、このプロジェクトを支援するための募金活動で集めた寄付金がこのプログラムに充てられます。このプロジェクトは2023年に開始し、6年間において毎年5%拡張するのが目標です。

 **SMARTターゲット**：これらのアクティビティの証拠資料を通して、私たちの環境維持に対する首尾一貫した取り組みが世論に影響していることが例証されることが目標です。一年目には、参加者の人数と私たちの取り組みのリーチの基本データを集めます。それに基づき、これらプログラムのリーチが2年目ー6年目にかけて徐々に増加していくよう目標を設定します。